

パルde子育て

第2号 2008年3月



【感じて子育て】

ある子どもが書いた絵。そこには3個の太陽が描かれてありました。

「A子ちゃん、お日さまが3個あるね。」

「うん！1個やったらお花さんが寒いでしょ。だからたくさん書いてん！！」

大人の考えなら、確かに太陽が3個もあるのは変です。

でもA子ちゃんは、太陽が1個だとお花が寒いって感じたのですね。

3個の太陽を書けば、暖かくなるという「子どもの感性」が素晴らしいと私は感心しました。

ところで、子どもの目線と同じ高さになったことがありますか？

赤ちゃんがハイハイしたら、一緒にハイハイしてみよう！！

大人の目線からは、見えないものが見えますよ。

赤ちゃんがどんなものを見て、どんなことを感じているかが発見できたりして。

子どもは、考えるより感じるんですね。

大人はいろんなことを先に頭で考えてしまいます・・・でも子どもは、嬉しい気持ち、楽しい気持ち、悲しい気持ちなどを素直に感じます。

子どもは、そんなことお構いなしに行動するので、初めての場所でもすぐに

お友達同士になってしまいます。不思議な力です。羨ましい力です。

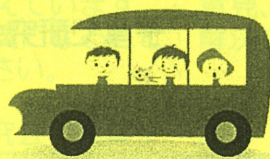
お子さんと一緒になって、感じてください。

「きれいね」「うれしいね」「たのしいね」など、素直な気持ちで子どもと遊んではどうでしょう。

大人だから、親だからという《こだわり》を持つことなく・・・。

感性豊かな子ども達の「感じる」力を大切にしてあげられる、子育てを楽しんでくださいね。

子育て研究会



お手伝いは将来役に立つ勉強の一つ!!

日々暖かくなってきましたネ

入園入学などを控え、親も子も期待と心配の複雑な気持ちで、おすこしの方もおられる事でしょう。

私にも経験がありますが、背中の中のランドセルの方が大きくて、大丈夫かな?と心配した程です。でも、子どもはたくましい!!夏休みの頃には、友達もたくさんできて、ワンパク坊主になっていました。

親としては心配ばかりが先立ちますが、その気持ちは子どもは敏感に感じとるものです。明るく「おかえり!!」と迎えてあげましょう。「ホッ」として、学校の事をいろいろ話してくれる事でしょう。しっかり顔を見てきてあげて下さいネ。家事仕事の最中だったら、手伝ってもらいながら、親子の会話の大切な時間にもなります。学校での様子や、子どもの気持ちが伝わってきます。

会話の中で心配になる様な言葉があっても、さりげなく心にとどめておく程度にし、様子を見ていきましょう。

学校は教科書を基本に学習していきますが、家庭ではそれ以外に学習になる事が一杯あります。

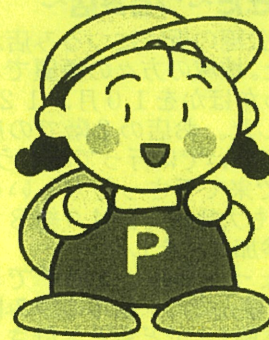
中でもお手伝いには、楽しみながらいろんな良い事がありますネ。特に食事の手伝いは、材料名を知ったり、どんなお料理に使うのか、調味料の味付け方など、栄養なども自然に身についていくのでは?と思うのです。残さずきれいに食べる事もネ。家族がおいしいと言って食べてくれれば少しのお手伝いであっても嬉しい事です。なによりもお母さんと一緒に、家族と一緒に、ワイワイ言いながら食事の支度をするって、ステキな事です。それは毎日でもなくてもいいと思います。小言を言わず見守りながら、会話もそれぞれの出来事を交えながら、家族のふれあいが自然にできていくように思います。

その経験は、大きくなって忘れず覚えていて、きっと役に立つ事でしょう。

成績がよければすべて良しではなく“人として育っているかどうか”の方が大切な事だと思います。何のために学問が必要かを、子ども自身が考え、いろんな経験を学んでいく中で、納得して選んでこそ、学問も生きてくる事だと思います。

子育て研究会 あかまつ のぶこ

《始めませんか!・・・絵本のある毎日を!!》



赤ちゃんは、お腹の中にいる時からお母さんやお父さんの声を聞いています。愛情のこもった温かい声なら赤ちゃんはとても幸せですね。「言葉」は眼に見えませんが、初めて赤ちゃんを抱っこした時や、泣いたり笑ったりした時に、無意識に何か語りかけていませんか?

「いない いない ばあ」 童心社

松谷みよ子：文 瀬川康男：絵 1967年初版

ねこや、くま・・・ページをめくるといろいろと出てくる動物と「いない いないばあ」のくりかえしが赤ちゃんの耳に心地良く聞こえます。慈しみ（いつくしみ）のある声で読んでもらえるしあわせ。親と子が同じ空間にいることの大切さ・楽しさ。愛情のこもった声、温かい気持ちのこもった大人（お母さんやお父さん）の声は赤ちゃんの気持ちを目覚めさせ、心を育てます。抱っこしながら絵本を読んであげられるなら、なお良いかもしれませんね。

赤ちゃん時代に親と子が同じ時間を過ごすこと、これがとても大切なことは言うまでもありませんが、赤ちゃんが育つことをとおして親も育ちます。

ゆっくりあせらず、毎日5分から『絵本のある暮らし』始めてみませんか?

子育て研究会 中村和美

編集後記

創刊号が先輩ママにはなつかしい子育て中の思い出の出話のきっかけになったことを知りました。これからも、みなさんのお役に立つ誌面づくりを目指していきたいと考えています。ご意見、ご感想、子育ての悩み、気になること、解決の体験談などを、お寄せ下さい。

子育て研究会 編集チーム

お問い合わせ先

組合員サポートセンター

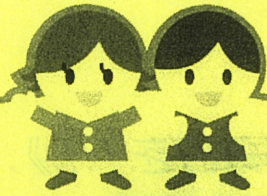
TEL 0120-299-244

FAX 0120-299-230

発行

2008年3月

おおさかパルコープ 子育て研究会



パルちゃん広場ぽっかぽか

「ひとりで子育てからみんなで子育て」をテーマに親子がともに「ホッ」とし、リフレッシュでき、子ども達の成長を共に喜び、元気な心で子育てができるようスタッフ全員が心がけ活動しています



お店にパルちゃん広場ぽっかぽかが やってきた～つるみ店～

昨年、花博記念公園の近くにつるみ店がオープンしました。地域の方々の要望でパルちゃん広場ぽっかぽかを10月、12月、2回開催しました。お店の2階での広場は、「お買い物ついでに行ってみよう♪」の気軽な気分で来て下さった方もいらっしやり、2回とも大盛況で計40組80名以上の親子が参加されました。

最初は、ちょっと緊張した様子でしたが、おもちゃで遊んだり、絵本の読み聞かせや手遊びを体験し、子どもとお母さんの時間をゆっくり過ごせたようです。

感想には「たくさんのお友だちと遊ぶ機会ができてよかった。」「同年齢の子どもを持つお母さんたちといろいろお話しができて楽しかった。」「次も来たいです」などの声がありました。



ママのつぶやき

食のフェスティバルに子育てグループ「パルちゃん広場ぽっかぽか阿倍野」も参加しました。そこで寄せられた子育ての悩みを一部紹介します。



寝起きが悪くて…



朝からグズグズいわれると、1日中気分が乗らないですね。それは子どもも一緒。よく夜に子ども連れの親子をみかけますが、お子さんが眠い、眠たい時に無理に起こして親の時間につき合わせていませんか？子どものペースを1日かけて見守ってあげましょう。その中から、原因をたしかめることもできるかもしれませんね。



遊び食べをやめてほしい。



まずは食べることは楽しいと感じることが大切ですよね。たまには家族一緒に「いただきます」「ごちそうさま」をする日をつくってみたり、お友だちと一緒に食事をしてみては？思い切って30分ぐらいで「はい、ごちそうさま」と片付ける大胆さもOKかな。みなさんはどうされていますか？



この指と～まれ

パルちゃん広場ぽっかぽかでは、広場運営に携わってくださるボランティアスタッフを募集しています。親子で一緒にたのしめる場、お母さん同士、スタッフ一緒にあれこれ交流して息抜きができる場を作ってみませんか？もちろん子どもを連れてOK！先輩ママもOK！

子育て真っ最中のママが笑顔になれる広場をつくろうという気持ちとやる気のある方、大歓迎です。この指と～まれ。

*お問い合わせは組合員サポートセンターまで

